

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|-----------|---------|------|------------------|--------|-----|--------|---------|
| 330541127 | 教育実習(幼) | 永津利衣 | | | 4 | 選択 | 4前期 |

科目の概要

「教育実習(幼)」はDP1.2.3をふまえ、幼稚園等での教育実習を通して、幼児の活動の実践的理解、幼児教育現場の環境構成、幼稚園教諭等の役割と責務の把握を図ることを目的としている。実際に現場の指導教諭のもとで、観察・参加・実習と日々の省察を行いながら、これまで学んだ理論と現場の実践を結びつけ、幼稚園等の実際を総合的に学んでいく。

本科目は「エクスターンⅠ・Ⅱ」や「保育実習」等で得た省察を活かし、「教育実習指導(幼稚園)」の事前学習を受けて実施される幼稚園教諭一種免許状取得に必要な実習科目である。実習後、学内での「教育実習指導(幼)」の事後指導、4年次での「教職実践演習」のまとめに発展する。

| 学修内容 | 到達目標 |
|--|--|
| <p>① 実際に園児とふれあい、教職員と出会うことを通して、幼児を知り、幼児を心身共に健やかに保護育成するための保育の本質を理解する。</p> <p>② 学内で学んだ理論と技能を統合しながら、保育者としての実践的な能力や使命感、保育精神を修得する。</p> | <p>① 実際に園児とふれあい、教職員と出会うことを通して、幼児を知り、幼児を心身共に健やかに保護育成するための保育の本質を理解することができる。</p> <p>② 学内で学んだ理論と技能を統合しながら、保育者としての実践的な能力や使命感、保育精神を修得することができる。</p> |

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

| | | |
|---------|-------------|--|
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 子どもと積極的に接することを通して、主体的に保育・教育を学ぶことができる。 |
| | 働きかけ力 | |
| | 実行力 | 目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 |
| | 計画力 | 子ども理解に基づいて指導案を立案することができる。 |
| | 創造力 | |
| チームで働く力 | 発信力 | |
| | 傾聴力 | 他の教諭等の意見に耳を傾け、相手への配慮をもって、適切に振舞うことができる。 |
| | 柔軟性 | |
| | 状況把握力 | 自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができていることを考え、目標に向かって努力できる。 |
| | 規律性 | 勤務態度、提出物、身なり等の実習のルールを守って実習に取り組むことができる。 |
| | ストレスコントロール力 | |

テキスト及び参考文献

参考文献：幼稚園教育要領解説

他科目との関連、資格との関連

本科目は、専門科目の実習領域の一部であり、「エクスターンⅠ」「エクスターンⅡ」「保育実習指導」「保育実習」「施設実習」等で獲得した知識・技能を活用する。

関連する資格：幼稚園教諭一種免許状

| 学修上の助言 | 受講生とのルール |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> これまで学習してきた保育に関する科目の復習や、保育実習で見つかった課題の確認をしておく。 保育実技(絵本、パネルシアター、歌遊び等)の準備をする。 一日を振り返り、丁寧に記録を書くことで力がついていく。一生懸命に取り組む中で保育のおもしろさや多くの発見が得られるであろう。 | <ul style="list-style-type: none"> 体調管理をして、積極的に実習に参加する。 節度と責任をもった行動をとる。 10分前行動など、時間にゆとりを持った行動を心掛ける。 分からないことは必ず確認する。 |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | | | | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント |
|--------|-----------------------|--------------------|-------|------|---|--|--|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 0 | ① | | | | |
| | | | | ② | | | | |
| | 小テスト | | 0 | ① | | | | |
| | | | | ② | | | | |
| 平常評価 | レポート | | 0 | ① | | | | |
| | | | | ② | | | | |
| 学修成果 | 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 90 | ① | ✓ | | | ・実習園の評価（90点） |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | | 10 | ① | ✓ | | | （主体性）こどもと積極的に接することを通して、主体的に保育・教育を学ぶことができる。 （実行力）目標や課題に向けて諦めず、強い意志をもってやり遂げることができる。 （課題発見力）子どもの発達等に関して思い込みや憶測ではなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （計画力）子ども理解に基づいて指導案を立案することができる。 （傾聴力）他の教諭等の意見に耳を傾け、相手への配慮をもって、適切に振舞うことができる。 （状況把握力）自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって努力できる。 （規律性）勤務態度、提出物、身なり等の実習のルールを守って実習に取り組むことができる。 |
| | | | | ② | ✓ | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|---|---|
| <p>S(秀)</p> <p>①幼稚園等の役割や機能について、具体的な実践を通して十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録できる。</p> <p>②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育・教育について十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。</p> <p>③既習科目や教育実習指導を踏まえ、子どもの保育・教育について総合的に十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。</p> <p>④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み理解を深め、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。</p> <p>⑤幼稚園教諭等の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。</p> <p>⑥実習における自己の課題について十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に明確に記録できる。</p> <p>A(優)</p> <p>①幼稚園等の役割や機能について、具体的な実践を通して十分に理解でき、自分の言葉で記録できる。</p> <p>②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育・教育について十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。</p> <p>③既習科目や教育実習指導を踏まえ、子どもの保育・教育について総合的に十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。</p> <p>④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み理解を深め、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。</p> <p>⑤幼稚園教諭等の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて十分に理解でき、自分の言葉で丁寧に記録・実践できる。</p> <p>⑥実習における自己の課題について十分に理解でき、自分の言葉で明確に記録できる。</p> | <p>B(良)</p> <p>①幼稚園等の役割や機能について、具体的な実践を通して理解でき、自分の言葉で記録できる。</p> <p>②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育・教育について理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。</p> <p>③既習科目や教育実習指導を踏まえ、子どもの保育・教育について総合的に理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。</p> <p>④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み理解を深め、自分の言葉で記録・実践できる。</p> <p>⑤幼稚園教諭等の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解でき、自分の言葉で記録・実践できる。</p> <p>⑥実習における自己の課題について理解でき、自分の言葉で明確に記録できる。</p> <p>C(可)</p> <p>①幼稚園等の役割や機能について、具体的な実践を通して理解でき、参考資料等を参考に記録できる。</p> <p>②子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育・教育について理解でき、参考資料等を参考に記録・実践できる。</p> <p>③既習科目や教育実習指導を踏まえ、子どもの保育・教育について総合的に理解でき、参考資料等を参考に記録・実践できる。</p> <p>④保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み理解を深め、参考資料等を参考に記録・実践できる。</p> <p>⑤幼稚園教諭等の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解でき、参考資料等を参考に記録・実践できる。</p> <p>⑥実習における自己の課題について理解でき、参考資料等を参考に明確に記録できる。</p> |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|-------|---|---------|------------------------|--|-------|---|
| 1～5 | <p>【第1週】</p> <ul style="list-style-type: none"> 園長や主任教諭の講話（園の教育理念、勤務上の指導等） 指導教諭の講話（実習生としての1日の過ごし方など） 観察、参加 <p>指導教諭の授業を参観することが主となる。その際、指導教諭はどのようにして園児に寄り添ったり、援助したりして遊びを展開しているのか等、園生活における教諭の働きかけを観察参加によって学んでいく。また、園児との関わりを通して名前を確実に覚えたり、一人一人の園児の特性を把握したりすることも求められる。</p> <p>※実習園の作成した実習計画に沿って実施される。</p> | 講義、実習 | 責任と主体性を持って実習に臨むことができる。 | 予習：次の日の保育のねらいを理解し活動準備を行う。 復習：その日の活動を振り返り、記録・反省する。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 状況把握力 規律性 |
| 6～10 | <p>【第2週】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加 実習（部分）の実施 実習指導案の作成 | 講義、実習 | 責任と主体性を持って実習に臨むことができる。 | 予習：次の日の保育のねらいを理解し活動準備を行う。 復習：その日の活動を振り返り、記録・反省する。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 状況把握力 規律性 |
| 11～15 | <p>【第3週】</p> <ul style="list-style-type: none"> 責任実習の実施と園内研修会 実習のまとめ | 講義、実習 | 責任と主体性を持って実習に臨むことができる。 | 予習：次の日の保育のねらいを理解し活動準備を行う。 復習：その日の活動を振り返り、記録・反省する。 | 120 | 主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 状況把握力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力